



ロシアのウクライナ 侵攻を糾弾する！

2月24日、ロシアがウクライナに侵攻した。ロシア軍が首都キエフなどの軍事施設をミサイルで空爆、兵士40人以上が死亡、民間人10人が死亡したなどと報道されている。軍事衝突が起きれば、無辜の人間の命が多く犠牲になることは、歴史が物語っている。ウクライナでも同様、偶発的な事態も含めてその様な事態が起きることは容易に想像がつく。

ウクライナ侵攻を受けて、すでに高騰している原油価格が更に高騰し、ガソリン価格も一段と上昇する恐れがある。日本国内ではコロナ禍もあって全体に企業業績が振るわず、労働者の給料も上がらず、年金の支給額は下がる一方である。景気が悪く物価も上がる、「スタグフレーション」になる可能性がある。地理的に遠い欧州地域での紛争が、日本の生活弱者に影響を及ぼすのである。

日本でも憲法改悪を通じ、戦争のできる国づくりの仕上げをしようと画策されている。ひとたび戦争となれば、犠牲になるのは労働者とその家族である。そして人権・民主主義はないがしろになる。

私たちはロシアのウクライナ侵攻を糾弾するとともに、全ての戦争政策に反対し憲法改悪を許さない立場をあらためて表明する。

全ての戦争政策に反対！